



2024年 つばめ組生活発表会 「つばめ組世界旅行！！」NO.1

200カ国の国旗作りから、たくさんの国を調べてきたつばめ組の子どもたち。自分たちで国旗を作ったことで、たくさんの国を覚えました。そこで気になった国の遊びや、文化にたくさん触れて遊んできました。



サッカーに挑戦!! ～ブラジルの遊び～

引き続きいろんな国を調べることを楽しんでいるつばめ組の子どもたち。ブラジルを調べていると、ブラジルではよくサッカーをして遊んでいることを知りました。そこで「サッカーやりたい！」という声が挙がり、サッカーをすることになりました。

初めてのサッカーは、コートを作りゴールを鉄棒で準備して行いました。すると「ボールがコートの外に出ちゃうからもっと広くしたい!」「ブラジルは、ゴールのないサッカーもするって書いてあった!」と、子どもたちから実際にやってみて感じた・考えたことや、ブラジルのサッカーを調べて知った知識を教えてくださいました!

そこで、みんなで話し合い、ルールを考えてラインサッカーをすることになりました。みんなで考えたルールでするサッカーは大盛り上がり!!前半戦で負けてしまったチームも作戦会議を経て、後半戦では勝利!白熱した戦いは、なんと引き分けでした!

引き分けで火がついた両チームは、次の試合の作戦も考え「蹴る練習をする!」と、次に向けて意気込んでいました!次は、どんな試合になるのか楽しみです!



What's the time Mr, Wolf? / in オーストラリア!!

オーストラリアの遊びを調べると「what's the time, Mr. Wolf?」という遊びが出てきました。英語を読んでも「Wolf ってオオカミじゃない?」と英語を知っていた友達が教えてくれました。

そこから英語の意味や、ルールを調べると「オオカミさん今何時?と一緒に遊びだ!!」と日本の遊びのオーストラリアバージョンだということに気づいた子どもたちは、さっそくやってみることに!

みんなで声を合わせて英語を話しながら体を動かして遊ぶことに新鮮さを感じて、楽しむ姿が見られました。世界の遊びをすることで、英語に触れる機会も増え、他国の文字や言葉にも興味が出始めています。



チマチョゴリを着てみたい!

in 韓国



それぞれで装飾にもこだわり、世界に1つだけのチマチョゴリが完成しました!



紐の先はふさふさしてしているから、このロープを割けばいい!と、実際に割いてみると、本物みたい!と大興奮でした!

韓国にはチマチョゴリという衣装があることを知った子どもたちは、実際のチマチョゴリの衣装を調べてみると「着てみたい!!」「可愛いのもかっこいいのもある!」と興味を示しました。

本物を着ることは難しそうだと気づき、みんなで作ることにしました。

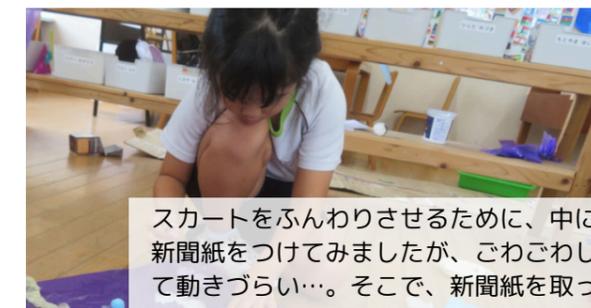
- ・チマ(スカート)はふんわりしている!
- ・男の子の衣装は、紐がついていて、先がふさふさしているね!
- ・スカートが長くて、上が短いね!
- ・腕のところが短い!

といった特徴を見つけ、この特徴をどんな素材を使って表現するか意見を出し合って考えました。



完成すると、みんなで撮影会!!自分で作ったチマチョゴリだからこそ、とても気に入っていました!

始めは「作るの難しそう...」「多分作れないよ...」という声が多く、どうなるのか想像がつかない部分もありましたが、それでもいざ作る!となったらみんなで協力して、意見を出し合い、作り進めていく姿に成長を感じました!



スカートをふんわりさせるために、中に新聞紙をつけてみましたが、ごわごわして動きづらい...そこで、新聞紙を取ってみると、ないほうがふんわりしているかも!ということに気づき、元のままにすることになりました。作りながら思考力を働かせています。

スキットル

モルック

～モルックのルール～

- ・モルックを投げて、倒れたスキットルの内容（本数または表示されている数字）によって、50点ぴったりになるまで得点したチームが勝ち！
- ・50点を超えてしまった場合は、25点に減点され、ゲームが継続される。
- ・投げ方は、下からであればどんな投げ方でもok。



みんなでモルックを楽しみながらも、正式なルールだと50点ぴったりになるまで時間がかかるため途中で終わってしまうことが多く、勝ち負けが決まらずに子どもたちも不完全燃焼な様子。みんなで話し合った結果、もう1セット「手作りモルック」を作ることに。

- 「ペットボトルで作れそう！」
- 「でも軽くてすぐ倒れるから水を入れないと」
- 「水がこぼれたら大変だからキャップをビニールテープでとめよう！」
- 「数字をペットボトルに書くのは難しそうだから紙に切って貼ったらいいんじゃない？」

こうして、みんなで意見を出し合って、手作りモルックの製作が始まりました。製作中にも「本物のモルックと重さを同じにしよう！」という子どもの意見から実物と重さが合うように、水の量を調整しながら作っていました。完成して早速やってみると倒れ方もほとんど同じで、自分たちで考えて作った「手作りモルック」の完成度に大満足の子もたちでした。



モルック

～フィンランドの遊び～



フィンランドの遊びを調べると、フィンランドでは「モルック」という遊びをしていることが分かり、みんなでやってみることにになりました！

まずは、モルックとはどんなものか、実物に触れて確かめてみました。「木でできてるんだ！」「これ繋げたら一本の木になりそう！」「意外と重たいんだね！」と、発見や驚きを持ちながらも「早くやってみよう！」と期待感が高まる子どもたちでした。

-触れる-



-挑戦-

ルールを確認して早速遊んでみました！初めての遊びに少し緊張気味の子どもたち。50点までの道のりは長く、初めは地道に点数を重ねていだけで、大丈夫かなと少し不安な気持ちもありました。しかしやっていくうちに子どもたちがコツを掴んだり、ルールの理解が深まったりしていき、初めてのモルックは大盛り上がりでした！



初めてのモルックは、先生が点数を数えていましたが、自分たちでも数を数える姿が見られたので、2回目は、子どもたちで点数を数えること。大きい数字になると難しくなってきますが、それでも諦めずに指を使ったり、紙に書いたりしながら頭を使って数える姿が見られます。

-数を数える-



-教え合い-

モルックをする中で点数を数えるのが得意な子もいれば、もちろん難しい子もいます。そんな時に「今46点だからあと4点！」「じゃあ次は4を狙うか、4本倒せばいいんだね！」とチームの友達同士で教え合って、協力する姿が見られ、「共同性」や「言葉による伝え合い」の育ちを感じました。



みんなの思いが詰まった つばめ国旗

200カ国の国旗を手作りして、色々な国旗があることを知り、各国の国旗に込められた意味を調べました。すると、難しい言葉でまとめてあったため子どもたちに伝えるのは難しいかなと感じましたが、それでも子どもたちの知りたい！という気持ちが強かったため、一つ一つの言葉を子どもたちと一緒に調べながら意味を知っていきました。

そんな中「つばめ組にも国旗があったらいいのに！」という声が挙がり、つばめ国旗を作ることになりました。つばめの国旗にはどんな意味や思いを込めて作るか、話し合いをしてから作り始めました。



・つばめ組だからつばめを入れたい！
 ・虹も入れたい！じゃあ虹色にしよう！
 ・みんなはこれからつばめ組の友達とどうやって過ごしたい？
 →ずっと仲良しがいい！！
 →じゃあみんなで手を繋ごう！！

世界の文化に触れて遊んだり、オリジナルの国旗を作ったりとたくさんの経験をしてきたつばめ組の子どもたち。調べれば調べるほど、どんどん興味関心が広がっていく姿を見て、子どもたちの探究心に驚くばかりの毎日です。友達がいるからこそ色々なことを知れて、色々な経験が出来る。この経験を通して、改めて友達の大切さを感じることができました。また、お互いの得意なところを生かし、苦手なところはカバーし合うことが自然と出来るようになり、子どもたちの団結力が見られるようになってきています。これからもずっとお互いを認め合い、支え合えるようなつばめ組の子どもたちでいてほしいです。